



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	医療法人 城南会	代表者	山根 邦夫	法人・事業所の特徴	デイ長田では、在宅生活が継続し送れる様、利用者様の残存機能維持、向上に努め、自立支援を目指し、「手は出しすぎず、目を離さず」を方針で行ってます。利用者様が楽しんで、満足し利用して頂ける様、一人一人に合わせた生活リズムを考慮し、利用者様へサービスの提供を心がけています。
事業所名	デイ長田小規模多機能	管理者	比嘉 健		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	人	人	0人	1人	人	2人	0人	5人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・日々、利用者さんとの会話をを行う時、どのようにしたいか確認し、カンファレンス時、各職員から情報をまとめ、希望に沿った、(メニュー:運動・手作業・レク・生活リハビリなど)計画書を作成する。	・カンファレンスを開催し、各職員から情報を聴き、評価、改善策を検討、新たに計画書を作成し、目標に向け統一ケアを行っている。	・利用者さんは、デイ長田に来て楽しんでいきますか。	・利用者さん一人一人やりたい事、行きたい所等、聞きだし活動プログラムに取り入れる。 ・意思表示が行えない利用者さんに対し、色々な活動参加を促し、表情などから汲み取る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・利用者さんが満足して利用行える様、一人一人のプログラムを作成し、歌、レクレーション、ドライブ、家事的作業、個別運動など提供する。	・利用者さん一人一人、出来る事を検討し、好む活動をプログラムに入れ、サービス提供を行っている。	・道沿いなので、騒音などないですか。 ・臭いは、施設内に入った事が無いので分からない。	・毎週水曜日、地域の清掃活動を継続しつつ、施設内外の環境を整備する。 ・5S担当職員が定期的に確認する。
C. 事業所と地域のかかわり	・デイ長田夏祭りを開催する。	・夏休み期間に長田ミニミニ祭りを開催する事が出来た。バザーやゲーム等を準備する事で、地域の方が多数来所され交流が図れた。	・地域の祭りに参加されている。 ・来年も継続して長田ミニミニ祭りを行った方が、地域に知ってもらえるのではないかと。(食べ物販売が合った方が良い) ・地域行事に不参加時、連絡がある。	・長田ミニミニ祭りを開催し、地域の方(子供から大人)まで楽しめるような出し物(ゲーム)など、他、飲食を提供が行える。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域の方が1階交流室の運動器具を使用できる様、看板を設置、気軽に利用できる様に作る。	・看板設置を行ったが、地域の方に周知されていない。利用する方が少ない。	・運動器具、マッサージ器具が地域の方が利用する事で、アピールになると思う。 ・地域の資源を活用しているのか。	・地域交流室を活用して頂ける様、地域の方向けのチラシを作成し配布する。 ・利用者さんの必要な資源を職員間で話し合い、資源を活用する。(見守り・ゴミ捨て)など
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議に参加した職員は、ミーティング時、全職員へ報告する。参加者の意見を情報共有する。	・ミーティング時、運営推進会議出席担当から報告し、全職員へ情報共有する機会を継続して行っている。	・地域の方が、心配、困り事など、情報があるのか。 ・地域会議への参加を行っていますか。	・地域会議開催の情報収集し、職員が参加行える様、調整する。 ・運営推進会議へ全職員が出席行える様、継続して調整を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	・運営推進会議時、参加者も含め訓練を実施する。	・日中想定で訓練を行った際、運営推進会議メンバーも参加されたのが良かった。	・災害時、地域の方から避難場所としての連絡を受けた事があるのか。 ・住民が避難場所として利用する際、個室などがあるのか。	・地域と連携し、災害時の対応(日中の受け入れ)を必要時行える様、地域交流室や3階宿泊居室を利用して頂く。但し、職員が常勤でいる場合に限る。